

# 平成 27 年度 第 3 回越前町地域公共交通会議

## 議 事 録

開催日時：平成 27 年 12 月 3 日(木)

午後 1 時 30 分～午後 3 時 00 分まで

開催場所：越前町役場 別館 2 階 大会議室

### ●出席者

・委員：16名

(欠席者4名 矢部委員、富山委員、河原委員、西山委員)

・事務局：4名 渡邊総務理事、畑企画財政課長、佐々木課長補佐、  
佐々木主査

### ●議事概要

(1) 地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統)に関する事業評価について

事務局	今回の事業評価は地域公共交通確保維持改善事業(国庫補助事業)が適切に実施されているかどうか、地域全体の交通ネットワークを踏まえた評価及び見直しがより効果的・効率的にされているかを目的としています。補助対象でありますコミュニティバス(朝日・宮崎・織田地区巡回ルートデマンド運行分)の結果について評価し、本会議にて承認されたものを国土交通省中部運輸局へ提出する予定です。 評価に関する主な部分のみを説明します。 事務局より説明。
岡田委員(福井運輸支局)	運行経緯・課題についてもう少し詳しく説明して欲しい、事業評価についてももう少し詳しく記載してはどうか。また、免許を持っていない人、デマンド便の利用しにくさとは。
事務局	免許を持っていない人とは、年齢が80歳から90歳前後の方でも元々運転免許を取得されておらず、コミュニティバスを頻繁に利用されていた方のことです。デマンド便の使用しにくさとは、デマンド便は予約があれば運行され中型バスを一人のために運行してもら場合もあり、そのために運行してもらうのは申し訳ない等の理由で予約をしにくいとの意見があったことを指しています。以上のことなどを含め、詳しく記載するようにします。
浅沼副会長	Check(チェック)項目の記載の仕方ですが、それぞれの課題に対するそれぞれの対応策を記載してはどうか。また、今後の対応はAction(アクション)

	ン) の項目に記載してはどうか。
事務局	そのように修正します。
遠矢委員	運転免許の自主返納者は何人ぐらいいるのか。デマンド方式とは。
事務局	運転免許の自主返納者数は警察の所管業務なので分かりませんが、運転免許自主返納者に対するコミュニティバスの無料定期乗車券は、制度開始から107名に発行しています。デマンド方式とは定時定路線と同じルートで、予め決められている時間を予約に応じて運行する方式のことです。
吉村委員	コミュニティバスや路線バスに対するすべての意見を聞いても実現は難しいと思うので、事務局で意見を精査すべきだと思う。また、利用者からの声を聞いたところ、便利であるとの声も多数あり地域に定着してきているのではないかと感じる。
伊部委員	路線バス（福井鉄道 福浦線）の利用者からの声を聞くと、ルート変更や到着時刻も改善され良くなっていると聞いている。今後もルートや時刻について更に改善を進めてほしい。
岡田委員(福井運輸支局)	最低保障運行とはどのような運行を指しているのか。
事務局	路線バス・コミュニティバスを合わせた集落カバー率のことを指しており、バスの便数などではなく面的なカバーできるエリアでの運行を指しています。
浅沼副会長	他に質問もないようですので、地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー系統）に関する事業評価につきまして承認とさせていただきます。

## (2) 第三次越前町地域交通計画（案）の策定について

事務局	本計画は平成22年に策定した第二次越前町地域交通計画が5ヵ年計画の最終年度を迎え、新たに策定する第三次の計画です。前回の会議で計画策定の進め方やスケジュール、第二次計画の進捗状況、第三次計画の構成の概要を説明させていただきました。今回は交通計画全体（案）について、計画策定業務を受注したコンサルタント業者の日本海コンサルタントほうから説明します。コンサルタント業者より説明。
岡田委員(福井運輸支局)	各自治体において総合振興計画や人口ビジョン・総合戦略を策定されていると思うが、それらの計画との関連性は。
事務局	現在、当町では人口ビジョン・総合戦略が策定され、総合振興計画も策定中です。本交通計画は、それらの計画との整合性を保ちながら策定を進めています。
伊部委員	56ページ(2)①②の小中学校・高校生に対する支援の維持・充実とあるが、何か検討している施策はあるのか。
事務局	来年度へ向けて新たな施策を検討中です。
岡田委員(福井運輸支局)	本計画案は活性化再生法に基づく形成計画に近い形で策定されているようであるが、58ページの(3)①の児童から高齢者まで幅広い年齢層を対象とし

	た意識啓発についても、前回の計画から引き続き継続されているとのことなので、先程の議題にあった事業評価に記載してはどうか。
事務局	事業評価に追加で記載します。
吉本委員(梅沢委員代理)	53 ページの(1)②の③乗継拠点の見直しとあるが、路線バスの乗継についてどう考えているのか。
事務局	町内の路線バスは越前地区から福井市、鯖江市、越前市方面へ、それぞれ福浦線、鯖浦線、武生越前海岸線の路線バスが運行しています。乗継拠点とするならば、3路線すべてで運行ルートが重複している織田・かれい崎間の起点である織田バスターミナルが適当と想定していますが、住民からの様々な意見もあり、バスターミナルを上記3路線すべてのハブ拠点とするのは、高齢の利用者が多いことを考慮すると、乗継等の問題もあり難しい状況です。しかしながら、国の方針にもあるように、将来的にはバスターミナルをハブ拠点とするような路線バスの再編を検討しなければならないと考えています。
岡田委員(福井運輸支局)	55 ページの(1)④隣接市との連携による鉄道線アクセスの向上とあるが具体的にはどのような運行を考えているのか。
事務局	鯖江市との協議中の内容ですが、鯖江市のコミュニティバス(つつじバス)については、既に吉川線が川去地区まで運行しているので、その路線を延伸し越前町朝日地区内の西田中周辺やアオキ、コメリ、ヤマキン等まで乗入ることによって鯖江市川去地区周辺の住民の方の利便性を向上させることができるのではないかと。また、越前町のコミュニティバスについては、神明駅へのアクセスを向上させるため、路線バス(鯖浦線)が運行されていない時間帯に神明駅まで運行してはどうかということをそれぞれ協議中です。
岡田委員(福井運輸支局)	鯖江市のコミュニティバスの延伸は問題ないと思うが、越前町のコミュニティバスが神明駅まで延伸するとすると、既存の路線バスとの競合などの問題があるので、協議の内容について随時、福井運輸支局まで相談をお願いします。
浅沼副会長	60 ページの(3)③地域主体の新たな地域公共交通の仕組みづくりに向けた検討とあるが行政が主体的に活動するのか。
事務局	地域の公共交通を運行事業者と行政だけで維持していくことは限界があると考えており、地域主体の公共交通の実現に向けて、新たな地域公共交通の仕組みづくりを行政が主体となって検討していきたいと考えています。
浅沼副会長	分かりました。
浅沼副会長	他に質問もないようですので、第三次越前町地域交通計画(案)につきまして承認とさせていただきます。

#### (4) その他

浅沼副会長	その他について何かありますでしょうか。 無いようですので、以上を持ちまして会議を終了します。
-------	---------------------------------------------------